

支援する会ニュース

2022. 5. 12 NO. 80

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

尾澤さん不当逮捕から1年、無罪を勝ち取ろう！

4月25日と5月9日に埼玉市民の会の行動がありました。5月9日の行動は、昨年5月10日の尾澤さん不当逮捕からほぼ1年ということで、リレートークが行われました。4月28日に第79回木曜行動がのべ90人余の参加で行われ、終了後に武蔵学園争議支援にも参加しました。連休中の5月1日メーデーと5月3日憲法集会には支援する会の旗を持って参加。5月11日には大阪市民の会の大阪支店抗議行動が取り組まれました。以下木曜行動の報告です。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からキムヒョンジンさんがソウルでの闘いを報告してくれました。6時起床、サンケンコリア前で出勤街宣し、国会、

LG 本社、日本大使館などでスタンディングしているとのこと。ペクウンジュさんも「サンケン電気の目的は以前も今も変わっていないようだ。それは私達労働組合がある韓国サンケンを潰して組合員の正社員を解雇し、非正規を雇って安く使い利益を上げようとするのだ。…何としても工場で労働組合を守りぬき、私たち自身の労働者としての権利を守り誇らしく働く、そのために闘いを続けてきた」と語りました。韓国からはキムウニョンさんが勝利したシグネティックスと韓国ドイツの闘いについて報告、闘い続ければ勝ると確信したと語りました。埼玉市民の会、旭ダイヤ労組の発言が続き、シュプレヒコールで志木駅へ。

〔志木駅南口前〕

埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からキムウニョンさんが自分たちの気持ちにぴったりだと『タンポポのように』の歌詞「タンポポのように生きて行こう。私の胸に灯したこの闘いの思い、数々の足に踏まれても生きて行こうタンポポのように…」。



ヤンソンモさんは、韓国サンケン工場跡地に掲げられたソファン電子の看板は買主 HDI の違法看板だと指摘し、自由貿易地域管理局にも届出のないやり方

は、まるで悪辣なサンケン電気のようにとアピール。ゆいの会『明日を信じて』、女闘労倶楽部『若者たち』、サンケン太郎さん『翼をください』などをそれぞれ熱唱。ピースサイクル、明大生協労組の発言で行動終了。

〔池袋・東京事務所前〕

渡辺共同代表の挨拶でスタート(写真右)。韓国からキムヒョンガンさんが「新型コロナウイルスのようにサンケン電気は私たちの身体の中に入って私たちを苦しめている。コロナも資本家も私たちにとって恐ろしいことになり変わらない。私たちにとっては世界的流行の新型コ



ロナウイルスより資本家たちが更に恐ろしい存在だ。そして現在ここに集まった日本の仲間の皆さんは私たちにとって、ワクチンのような存在だ」と語りました。三信自動車労組、武蔵学園労組、尾澤邦子さんの発言が続き、怒りのシュプレヒコールで終了しました。

尾澤裁判の勝利に向けて

尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。4月30日の第一次集約で530筆、インターネット署名が249人となりました。メーデー会場でも24筆の協力がありました。引き続きのご協力をお願いします。次回の公判前手続は6月6日の予定です。いよいよ初公判日の確定が近づいています。署名活動は支援する会までご連絡下さい。

前号79号、7行目のキムミョンヒ→イミョンヒに訂正。